

令和4年度進行管理・評価シート
下田市歴史的風致維持向上計画（平成30年11月13日認定）
（最終変更 令和2年5月29日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)	2
2 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)	3
3 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業	5
2 下田市景観まちづくり条例助成事業	6
3 玉泉寺周辺整備事業	7
4 市道大川端通線周辺整備事業	8
5 旧下田町道路美装化事業	9
6 蓮台寺温泉環境整備事業	10
7 下田公園環境整備事業	11
8 下田太鼓祭りプロモーション事業	12
9 太鼓台整備助成事業	13
10 姉妹都市(ニューポート)交流事業	14
11 下田市青年就農給付金給付事業	15
12 天草漁業従事者育成事業	16
13 旧下田町環境整備事業	17
14 歴史文化資源回遊性向上事業	18
15 郷土学習総合推進事業	19
16 下田市歴史文化情報発信推進事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、保存管理(活用)	21
2 文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練	22
3 文化財の普及・啓発、団体との連携	23
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	24
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 SNSにみる認知度の向上	25
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
計画の実施体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に関わる建設課と生涯学習課を中心とし、各事業担当課との連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。 また、国や静岡県と協議し、助言や支援を受けるとともに、下田市歴史的風致維持向上協議会（計画認定後に名称変更予定）と協議し、計画の円滑な実施や計画変更を推進していく。 さらに、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図りつつ、下田市文化財保護審議会などへ報告し、助言を得ていく。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
建設課と生涯学習課を中心に、事業に応じて庁内関係各課と協議・調整し、市民および各民間団体の理解・協力を得ながら事業を実施している。特に今後、より専門的な協議等が必要となることを想定し、学識者や関係者とともに作業する組織として、下田市歴史的風致維持向上協議会内に「作業部会」を設置できるようにした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画第8章「4 改修に伴う建築基準法の適用除外」について、作業部会を設置し検討していく方針。		
状況を示す写真や資料等			
<pre> graph TD A["<国> 文部科学省 農林水産省 国土交通省"] -- 協議 --> B["下田市 <事務局> 建設課、生涯学習課"] C["<静岡県> スポーツ・文化観光 部交通基盤部"] -- 助言支援 --> B B -- 協議調整 --> D["下田市歴史的風致維持向上協議会 作業部会 作業部会 連絡調整会議"] B -- 報告 --> E["下田市 文化財保護審議会"] E -- 助言 --> B B <--> 協議 調整 F["市民、文化財所有者、関係団体"] G["実施体制"] </pre>			
<p>作業部会：協議会所掌事項に関し、必要に応じて詳細な調査及び検討をする。</p> <p>連絡調整会議：作業部会間の調整を行う。</p>			

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------------------------	--	---

計画に記載している内容 本重点区域は、まどが浜海遊公園や柿崎弁天島などの一部を除き、ほぼ全区域が用途地域内である。こうした現状の用途地域区分に基づき、適切な土地利用を誘導することにより、中心市街地としての都市機能の集積と良好な居住環境の形成との両立を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

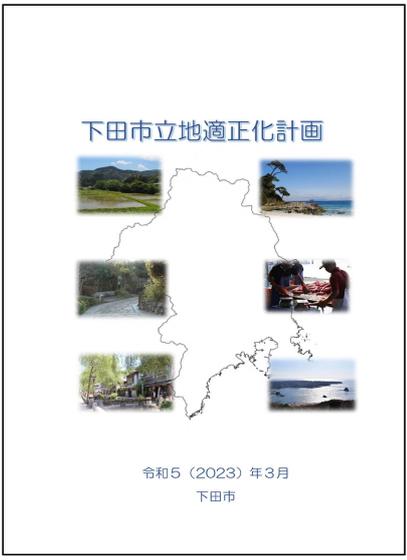
下田市の人口は、昭和50年を境に減少の一途を辿り、世帯数も平成12年以降減少に転じている。また、様々な災害リスクを抱える中、歴史まちづくりを推進し、市街地の充実と市街地間との連携により、持続可能なまちづくりを進めていくため、令和4年度に「下田市立地適正化計画」を策定した。

進捗状況 ※計画年度ごとの対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	下田市立地適正化計画において、重点区域を生かした計画を立てた。
--	---------------------------------

状況を示す写真や資料等

下田市立地適正化計画(令和5年3月)



令和5(2023)年3月
下田市

3. 上位・関連計画

3.1. 上位・関連計画の整理

表 3-1 上位・関連計画 一覧

分野	策定年月	目標年度	計画名
総合	令和3年3月	令和12年度	第5次下田市総合計画
	令和2年3月	令和6年度	第2期下田まちづくり・ひと・しごと創生総合戦略
	令和2年3月	令和4年度	下田市都市計画マスタープラン
観光	令和3年3月	令和7年度	下田都市計画 都市計画区域の整備
	令和3年3月	令和17年度	景観・環境及び安全の方針
	令和2年3月	令和12年度	下田都市計画マスタープラン
公共交通	令和5年3月	令和8年度	下田市公共交通整備基本計画
	令和2年3月	令和6年度	下田市空家等対策計画
健康・福祉	令和2年3月	令和6年度	第3期下田市健康増進計画
	令和2年3月	令和6年度	第4次下田市地域福祉計画
公共施設	令和4年3月	令和8年度	下田市公共施設等総合管理計画
	令和2年3月	-	下田市農業集落地域整備計画
防災・減災	令和4年3月	-	下田市地域防災計画
	令和3年3月	令和12年度	下田市国土強靱化地域計画
観光	令和3年3月	令和7年度	第2次下田観光まちづくり推進計画
	令和2年3月	-	下田市景観計画
まちづくり	平成21年12月	-	下田市歴史まちづくり推進計画
環境	平成30年11月	令和8年度	下田市歴史風致維持向上計画
環境	令和4年3月	令和13年度	第2次下田環境基本計画

5. 都市機能誘導区域の設定

5.1. 都市機能誘導区域設定の基本的な考え方

(1) 都市機能誘導区域とは

都市機能誘導区域は、医療・福祉・商業等の各種サービスの効率的な提供を図るため、これらの都市機能の効率的な誘導を図る区域である。

(2) 都市機能誘導区域設定の考え方

立地適正化計画の策定に際しては、歴史的・文化的価値を継承し、都市機能誘導区域の設置の考え方を整理しました。

都市機能 都市の拠点となるエリアに都市機能を誘導し集約することにより、利便性の高い生活圏の形成を図ります。

【整備方針】 都市機能が充実した生活利便性の高い拠点の形成

- 都市機能の集約による持続可能な拠点の形成
- 都市の都市機能の集約による利便性の高い生活圏の形成
- 旧来の歴史的特徴を活かしたまちづくりの推進
- 既存ストックを活用した都市機能誘導の誘致による交流人口の増加

◆都市機能誘導区域の留意点

歴史的風致の中心となる駅、パシオや公共施設から徒歩、自転車等で容易に到達することが望ましい。かつ、公共施設、都市機能誘導、公共施設の設置、土地利用の実現等に留意し、地味としての一体性を有している区域

出典：立地適正化計画の策定方針(国土交通省編) P44参照

旧市本郷エリア、河内エリアに都市機能誘導区域を設定し、都市機能の誘導を図ります。

1.3. 歴史的風致の特色を活かしたまちづくりの推進

沿道に歴史的なまちづくりを推進し、歴史的なまちづくりの推進

- 旧下田前庭跡美観化事業
- まちづくりの推進、パシオからの誘導を図るため、道路空間の美観化等を進め、歴史的なまちづくりの推進を図ります。

◎歴史的建築物の確保

- 歴史的建築物の保全・活用
- 歴史的建築物の維持管理や修繕を後世に継承するため、必要に応じて維持管理や活用を図り、維持管理を行います。
- 歴史的建築物の活用
- 歴史的建築物の活用によるまちづくりの推進
- 歴史的建築物の活用によるまちづくりの推進
- 歴史的建築物の活用によるまちづくりの推進
- 歴史的建築物の活用によるまちづくりの推進

1.4. 既存ストックを活用した都市機能誘導の誘致による交流人口の増加

◎空家、空き店舗の活用

- 空家の適正な活用によるまちづくりの推進
- 人口減少の緩和に向け、空家の適正な活用を図り、観光、衛生、商業等の観点から、空家の活用によるまちづくりの推進を図ります。
- 空家バンクの活用
- 空家の活用によるまちづくりの推進
- 空家の活用によるまちづくりの推進
- 空家の活用によるまちづくりの推進

◎ワーケーションの推進

- ワーケーションの推進によるまちづくりの推進
- ワーケーションの推進によるまちづくりの推進
- ワーケーションの推進によるまちづくりの推進
- ワーケーションの推進によるまちづくりの推進

◎公共施設の活用

- 公共施設の活用によるまちづくりの推進
- 公共施設の活用によるまちづくりの推進
- 公共施設の活用によるまちづくりの推進
- 公共施設の活用によるまちづくりの推進

下田市-2

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
重点区域は、下田市景観計画に定める旧町内ゾーン、下田港周辺ゾーン、海岸線ゾーンの一部が含まれている。今後は、景観形成施策と歴史的風致維持向上施設の整備及び管理等に関する事業推進の両輪で歴史的風致の維持向上を進めることを基本とし、下田市景観まちづくり条例に基づく景観重点地区の指定を進めていくとともに、歴史的風致と調和した良好な住環境の形成と美しく品格のあるまちづくりを進めていくため、旧下田町内においては、建築物の高さ制限などについて検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「下田市景観計画」の改定を行うため、下田市景観まちづくり審議会に作業部会を設置、景観計画の見直しを行った。
作業部会:6回 先進地視察:茨城県水戸市

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市の景観施策を今後どのように進めていくのか。その目標の設定と、それを達成するための基準や規制、景観形成の方向性をいかに具体化していくか。

状況を示す写真や資料等



令和4年6月16日作業部会 現地調査の様子
(須崎地区)



令和4年6月20日作業部会 現地調査の様子
(大賀茂地区)



令和4年10月24日作業部会の様子

令和4年度 下田市景観まちづくり審議会作業部会
活動状況

〈会議開催:年間6回〉	〈先進地視察〉
①令和4年5月25日	令和5年2月21~22日
②令和4年6月16日	視察先:茨城県水戸市
③令和4年6月20日	
④令和4年7月7日	
⑤令和4年10月24・25日	
⑥令和5年3月13日	

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
本市における屋外広告物の表示及び掲出については、屋外広告物法及び静岡県屋外広告物条例により規制・誘導している。屋外広告物条例の周知や屋外広告物の指導に努めるとともに、良好な歴史的風致の維持及び向上を図るため、市独自条例の制定に向けて検討を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「下田市景観計画」の改定を行う下田市景観まちづくり審議会作業部会にて、景観計画の見直しと合わせ独自条例化について検討。
作業部会:6回 先進地視察:茨城県水戸市

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市景観計画の改定による景観形成の方向性を踏まえ、それを補完できるような規制・誘導内容を定めた市独自条例の制定が求められる。

状況を示す写真や資料等



令和4年6月16日作業部会 現地調査の様子
(須崎地区)



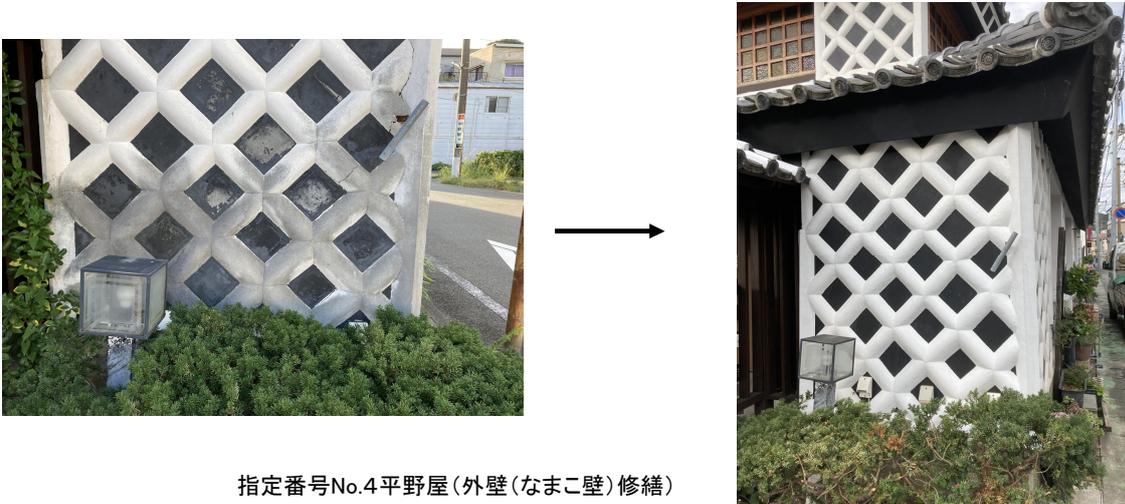
令和4年6月20日作業部会 現地調査の様子
(大賀茂地区)



令和4年10月24日作業部会の様子

令和4年度 下田市景観まちづくり審議会作業部会
活動状況

〈会議開催:年間6回〉	〈先進地視察〉
①令和4年5月25日	令和5年2月21～22日
②令和4年6月16日	視察先:茨城県水戸市
③令和4年6月20日	
④令和4年7月7日	
⑤令和4年10月24・25日	
⑥令和5年3月13日	

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和元年度～令和4年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した建造物を後世に残すため、必要に応じて現況調査、維持管理や活用についての検討、補修などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物の修繕費用に対する助成を実施し、建造物の保護保存を進めた。 歴史的風致形成建造物修繕助成： 令和元年度 2件、令和2年度 5件、令和3年度 4件、令和4年度 4件／対象物件10件(毎年度活用可)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建物所有者の高齢化や維持管理の負担など、引き続き歴史的建造物の保護保存に対する課題は多い。助成制度の継続的な運用はもちろん、建物所有者にとって使いやすい制度の検討など、所有者への聞き取りなどを通して制度の拡充を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
指定番号No.5草画房(建物入口扉修繕)			
			
指定番号No.4平野屋(外壁(なまこ壁)修繕)			

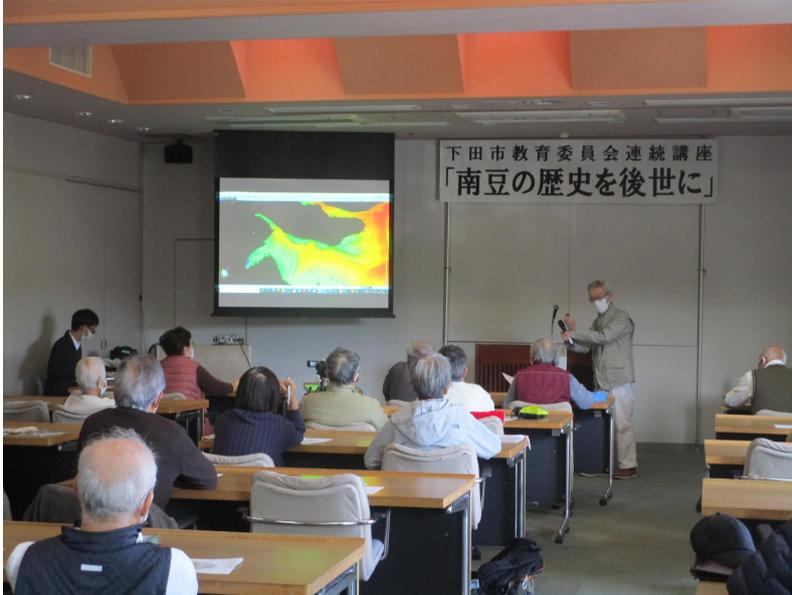
評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
下田市景観まちづくり条例助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内に所在する歴史的建造物のうち、下田市景観まちづくり条例に基づく登録まち遺産である建造物を後世に残すため、必要とされる修繕、活用に向けた費用を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的建造物の保護保存、活用に向けた改修等の費用負担軽減に対する助成事業を実施。 平成23年度 3件、平成24年度 3件、平成25年度 2件、平成26年度 1件、平成27年度 2件、平成28年度 1件、平成30年度 2件、令和元年度 2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者の高齢化、維持管理費用の負担など、歴史的建造物が抱える課題は多い。助成制度を継続的に運用しながら、より所有者の負担軽減につながる制度の検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			
			
登録まち遺産 雑忠 (歴史的風致形成建造物指定番号No.1雑忠) 石堀修繕(伊豆石の積み直し)・裏門修繕(漆喰塗り)			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
玉泉寺周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	玉泉寺周辺において、道路修景による歴史あるまちなみと調和した空間の整備や、駐車場整備等の環境整備を行うことにより、玉泉寺周辺の賑わいを取り戻し、良好なまちなみ環境の形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
玉泉寺周辺の景観特性を把握するため、専門家とともに現地調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域の特性を把握、絞り込みを行い、どのような整備事業の計画を検討するべきか、その素材調査、確認を継続していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
専門家とともに実施した玉泉寺周辺の景観特性の現地調査 (調査日: 令和4年10月25日)			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
市道大川端通線周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)		
計画に記載している内容	市道大川端通線周辺において、歴史あるまちなみ及び稲生沢川と調和した空間の整備を図るため、道路東側の物揚場の修景舗装、休憩施設の設置等の再整備を行い、良好な景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
整備方針の検討素材とするため、区域を含む周辺の交通社会実験の実施・検証を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大による人流の低下から、実験の実施を来年度に見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民だけでなく観光客も含めた人流における実験・検証を行うため、実施時期等の検討を行った上で事業を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
旧下田町道路美装化事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成30年度～令和4年度)		
計画に記載している内容	旧下田町内において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装や街灯整備、無電柱化を実施することにより、住民が誇りを持てる空間の形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度に「旧下田町地区街なみ環境整備事業計画」を策定し、計画に基づいて令和4年度も事業を実施した。 修景舗装実施済延長＝令和元年度:49.55m、令和2年度:69.20m、令和3年度:36.58m、令和4年度:32.2m これまでにおける修景舗装実施延長割合＝実施済延長:187.53m／計画延長:650m * 100＝29%			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修景舗装事業と併せ、ストリートファニチャーの設置や旧町名の石碑など、観光客や市民双方にとって良質な歩行空間の形成について検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
市道須崎町本町通線		施工前	
↓			
			
市道須崎町本町通線(一部完了)		施工後	

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
蓮台寺温泉環境整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成28年度～令和2年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	蓮台寺温泉地区において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装及び沿道への公園整備等を実施することにより、蓮台寺温泉地区の賑わいを取り戻し、温泉場らしい景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)にて整備した都市公園「しだれ桃の里公園」の管理として、草刈り及び公園裏竹やぶにて作業を実施した。公園内に所在する地元資源である「しだれ桃」の適切な管理のため、公園敷地内の定期的な草刈りや、公園の借景となる裏の竹やぶを伐採し、そだの設置を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		日常的な管理(草刈りや植栽等)を地域団体と協定を結び実施しているが、会員の高齢化や会員数の減少などにより継続的な活動が困難となっている。管理体制の再検討が必要である。	
状況を示す写真や資料等			
 <p>公園敷地内 草刈り前</p>		 <p>公園裏竹やぶ 作業前</p>	
↓		↓	
 <p>公園敷地内 草刈り後</p>		 <p>公園裏竹やぶ 作業後</p>	

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
下田公園環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田公園の地形的条件や自然環境などの特質を活かして、下田公園からまちなみを一望できる施設や散策路などの整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
公園敷地内に所在する市指定史跡 下田城址の測量成果(中間報告)を発表する機会として、歴史講座を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		市指定史跡 下田城址の測量完了後の活用方針を検討し、公園内の整備方針に反映させていく。	
状況を示す写真や資料等			
			
下田市グローバルCITYプロジェクト 令和4年度下田市教育委員会連続講座 「南豆の歴史を後世に」 11月6日(日)13:30～15:30 参加者:25名 「下田城址測量調査の中間報告について」 講師:下田市文化財保護審議会会長 下田市史編さん委員 外岡 龍二			

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
下田太鼓祭りプロモーション事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 首都圏等、市外の都市において下田太鼓祭りを様々な媒体を活用して魅力を発信、認知度をあげるプロモーションを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

前年度に引き続き、重点区域内の歴史的な建物やまちなみを散策してもらうため、散策マップを歴史的風致維持向上施設「旧澤村邸」にて継続的に配布。また、同施設にて令和元年度より歴史まちづくりカードの配布を行っており、カード表面に下田太鼓祭りの一場面を採用している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	コロナ禍において中止となっていた下田太鼓祭りであったが、アフターコロナを見越して少しずつ復活してくることが予想される中、継続的な広報活動と新たな情報発信方法を検討していく。
-------------------------------	--

状況を示す写真や資料等



マップ(表面)



歴史まちづくりカード

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
太鼓台整備助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田太鼓祭りの保全継承のために、祭りで使用する太鼓台の修理費等の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
太鼓台整備助成事業の検討も含め、下田市景観まちづくり条例における助成内容の見直しを実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	太鼓台や道具類を扱う職人の高齢化や、事業継承が困難な状況があり、技術の伝承や助成金制度などを活用した保護保存の検討も必要である。技術の伝承として記録保存するなど、新たな対応策の検討も必要である。		
状況を示す写真や資料等			
			
令和4年10月24日作業部会の様子			
令和4年度 下田市景観まちづくり審議会作業部会 活動状況 〈会議開催：年間6回〉 ①令和4年5月25日 ②令和4年6月16日 ③令和4年6月20日 ④令和4年7月7日 ⑤令和4年10月24・25日 ⑥令和5年3月13日 〈先進地視察〉 令和5年2月21～22日 視察先：茨城県水戸市			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
姉妹都市(ニューポート)交流事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田市との姉妹都市であるアメリカ・ニューポート市との交流事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度も昨年度に引き続き、コロナ禍による行動自粛の中で実施を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度																								
項目		現在の状況																									
下田市青年就農給付金給付事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																									
事業期間	平成24年度～令和9年度																										
支援事業名	静岡県農業次世代人材投資事業、市単独事業																										
計画に記載している内容	新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで、生活費などの費用の一部を補助する。																										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																											
新規利用希望者はいなかった。これまで給付を受けた者の就農は継続して行われた。																											
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																										
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	単に新規就農者を募集するのではなく、この地域の特色を生かしたプランを提示していく検討も必要である。																										
状況を示す写真や資料等																											
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> 平成24年度: 1件 平成25年度: 4件 平成26年度: 5件 平成27年度: 5件 平成28年度: 5件 平成29年度: 4件 平成30年度: 4件 令和元年度: 1件 令和2年度: 0件 令和3年度: 0件 令和4年度: 0件 </div> <div style="text-align: center;"> <p style="font-weight: bold;">下田市青年就農給付金給付事業 実績</p> <table border="1"> <caption>下田市青年就農給付金給付事業 実績 (平成24年度～令和4年度)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成24年度</td><td>1</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>4</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>5</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>5</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>5</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>4</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>4</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>1</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>0</td></tr> <tr><td>令和3年度</td><td>0</td></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>				年度	実績数	平成24年度	1	平成25年度	4	平成26年度	5	平成27年度	5	平成28年度	5	平成29年度	4	平成30年度	4	令和元年度	1	令和2年度	0	令和3年度	0	令和4年度	0
年度	実績数																										
平成24年度	1																										
平成25年度	4																										
平成26年度	5																										
平成27年度	5																										
平成28年度	5																										
平成29年度	4																										
平成30年度	4																										
令和元年度	1																										
令和2年度	0																										
令和3年度	0																										
令和4年度	0																										

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
天草漁業従事者育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業である天草漁業従事者の育成を図るため、後継者育成・確保のための事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
イベント等の開催を検討したが、コロナ禍による活動自粛により開催を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域資源としての周知・広報を行い、認知度の向上を図る。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
旧下田町環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	旧下田町において、市民や観光客の快適性を図るため、伊豆急下田駅周辺の再整備や散策エリアにおけるポケットパークといった休憩施設の設置等を進めることにより、賑わいを取り戻し、観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度に整備したポケットパークに設置していたファニチャーが劣化したため、長椅子及びテーブルの設置を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ハード面での整備は整いつつあるが、占用申請等による民間事業における活用や、その場所本来の設置目的からの活用についてルール化や基準化の整備に課題を残す。他市町での類似事例を参考にするなど、ルール化・基準化の検討が必要。		
状況を示す写真や資料等			
			
弁天橋ボードウォークに設置したファニチャー(机・長椅子)①			
			
弁天橋ボードウォークに設置したファニチャー(机・長椅子)②			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史文化資源回遊性向上事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	旧下田町地区や蓮台寺温泉地区に残されている歴史・文化資源を活かすため、散策コースの設定やマップ作成、あるいは外国人にも対応する案内サインなどの整備やウォーキングイベント等の開催により、地区内で回遊を生み出し、賑わい創出に繋げ、観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
既成市街地内の交通整流化と歩行空間の確保のため、交通規制社会実験を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大による行動規制等が実施され、交通量及び歩行者数の低下から実験実施を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地区内において、人や車がどのように動いているのか。これまで実施してきた修景舗装など周辺環境の高質化からどのような影響が出ているのか。実験を通して把握することで、今後の事業展開の検討材料としていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
郷土学習総合推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の素晴らしさを伝えるため、市民の生涯学習や市内小中学生の総合学習において、郷土の歴史・文化に関する学習機会を提供する。また、歴史的建造物や活動を支える職人に対して、有識者を招いて、歴史文化資源の貴重性などについての講義等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度、市内小中学校から総合学習への出前講座などへの要請はなかったが、建設課や生涯学習課が主催する講座、教室において子どもを対象として企画・開催することで郷土学習機会を創出した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	学校への出前講座等は、学校側からの要請がなければ実施することができず、郷土学習の継続性に課題を残す。自前の企画・実施講座等を通して郷土学習の機会を継続的に提供していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
下田まち遺産活用事業 下田認定まち遺産No.8「下田公園」散策教室 令和4年8月11日開催 参加者10名(小学生2名)		下田まち遺産活用事業 景観まちづくり事業 親子園芸教室 令和4年12月18日開催 参加者13名(小学生7名)	
			
コミュニティバス(いなみん号)活用事業 下田まち遺産活用事業 いなみん号で巡る 下田まち遺産ツアーin稲杵 令和5年2月23日開催 参加者19名(小学生3名)		吉田松陰関係史跡巡りイベント「しょういん探検隊」 令和4年10月15日開催 参加者18名(小学生11名)	

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
下田市歴史文化情報発信推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内外へ、歴史的風致に関する情報の周知を図るために、歴史的風致維持向上計画の公表と併せ、下田市広報、ホームページ、下田まち遺産手帖等で、歴史文化の情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観広報誌『下田まち遺産手帖』を2冊作成し、市内小中学校や商店、金融機関、ドラッグストアや医療施設など、約170箇所に配布した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

広報内容の検討を継続し、歴史的風致の周知に努めていく。

状況を示す写真や資料等



『下田まち遺産手帖』vol.21
令和4年10月1日発行(発行部数:5,000部)

『下田まち遺産手帖』vol.22
令和5年3月31日発行(発行部数:5,000部)

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財調査、保存管理(活用)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	国指定文化財7件、県指定文化財10件、市指定文化財56件、合計73件の有形・無形の指定文化財が存在している。国・県・市指定文化財は、文化財保護法、静岡県文化財保護条例、下田市文化財保護条例のほか、関連法令に基づき保存、活用していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
筑波大学・滝沢教授による科研費助成事業「古墳時代の洞穴墓と広域海上交通の展開に関する基礎的研究」の研究対象として、市内2箇所の遺跡が調査された。出土品のうち、一部史料については蛍光X線分析による成分及び年代測定を実施した。また、未分類の土器片を種類ごと整理、分類をした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		調査した文化財の活用方法として、刊行物による周知や講座・教室の開催など、活用方法の検討、実施を進めていく。	
状況を示す写真や資料等			
			
筑波大学 滝沢教授による科研費助成事業 「古墳時代の洞穴墓と広域海上交通の展開に関する基礎的研究」調査地遺物 分類			
			
筑波大学 滝沢教授による科研費助成事業 「古墳時代の洞穴墓と広域海上交通の展開に関する基礎的研究」調査地遺物 分類			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理は、歴史の真正性を担保するため、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。 文化財の周辺環境は、その文化財の魅力に強い影響力を持つ。よって、文化財の保存及び活用を図る上で、その文化財単体にのみ措置を講じるのではなく、その周辺環境と一体的な措置を講じ、文化財の魅力を高める。 火災が発生した際の迅速な消火体制の確保や対応力を高めるため、平素から防火教育や訓練に取り組むことで、文化財の滅失する危険性を除外・低下させていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国指定史跡玉泉寺において、直近で追加指定を受けたロシア人墓地踊り場の改修を計画しており、文化庁調査官を招いて改修計画案について指導を受けた。県指定史跡吉田松陰寓寄処では、耐震診断及び補強計画を策定した。市指定史跡下田城址では、文化財防火デーに消防署及び消防団の協力を得て、放水訓練を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を適切に保護保存し、将来にわたって着実に継承していくため、文化財の価値を損ねることのない適切な修理や周辺環境の整備、滅失等を防ぐための防災訓練の実施を継続していく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>国指定史跡 玉泉寺 ロシア人墓地 改修予定の踊り場の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市指定史跡 下田城址 文化財防火デーでの消火訓練の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>県指定史跡 吉田松陰寓寄処 耐震診断実施の様子</p> </div> </div>			

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の普及・啓発、団体との連携		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
市内外の人々を対象として実施する普及・啓発としては、文化財の価値や貴重さを伝えるために、各指定文化財の統一的な案内看板の設置や、文化財パンフレット等を作成し配布するとともに、ボランティア等によるガイド活動やイベントの開催を行っていく。
また、活動団体と連携して保存・活用を図るため、官民協働により担い手育成の支援や、必要な助言・指導などを活動的に行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎年度実施している教育委員会連続講座「南豆の歴史を後世に」を開催し、4回の開催で累計130人が参加した。また、地域の団体から出前講座の要請を受け、1回の実施で8人の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の普及・啓発を進めていくため、講座等の開催を継続していくことが重要である。また、講座内容について、過去に開催した内容と重複しないよう、講師の選定等を含め検討していく。

状況を示す写真や資料等

開催日時	演題	講師
10月30日(日) 13:30~15:30	伊豆の鎌倉仏 ～伊東氏・北条氏との関係を中心に～	田島 整 上原美術館主任学芸員、 下田市文化財保護審議会委員
11月6日(日) 13:30~15:30	下田城址測量調査の中間報告について	外岡 龍二 下田市文化財保護審議会会長、 下田市史編さん委員
12月4日(日) 13:30~15:30	文化財としての下田街道 ～「歴史の道」を考える～	佐藤 正知 下田市史編さん特別委員、 元文化庁主任文化財調査官
12月11日(日) 13:30~15:30	幕末、安政コレラ騒動 ～下田地方の実情～	高橋 廣明 下田市文化財保護審議会副会長、 下田市史編さん委員

下田市グローバルCITYプロジェクト
令和4年度下田市教育委員会連続講座 「南豆の歴史を後世に」

①令和4年10月30日(日) 13:30~15:30 参加者:46人
演題:伊豆の鎌倉仏～伊東氏・北条氏との関係を中心に～
講師:田島 整(上原美術館主任学芸員・下田市文化財保護審議会委員)

②令和4年11月6日(日) 13:30~15:30 参加者:25人
演題:下田城址測量調査の中間報告について
講師:外岡 龍二(下田市文化財保護審議会会長・下田市史編さん委員)

③令和4年12月4日(日) 13:30~15:30 参加者:30人
演題:文化財としての下田街道～「歴史の道」を考える～
講師:佐藤 正知(下田市史編さん特別委員・元文化庁主任文化財調査官)

④令和4年12月11日(日) 13:30~15:30 参加者:29人
演題:幕末、安政コレラ騒動～下田地方の実情～
講師:高橋 廣明(下田市文化財保護審議会副会長・下田市史編さん委員)

下田市グローバルCITYプロジェクト
令和4年度下田市教育委員会連続講座
「南豆の歴史を後世に」チラシ



下田市グローバルCITYプロジェクト
令和4年度下田市教育委員会連続講座
「南豆の歴史を後世に」第1回講座の様子



下田市職員出前講座 「こんなにあります市内の指定文化財」
日時:令和4年11月10日(木) 10:00~11:30 参加者:8人

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
吉田松陰の足跡をたどる 小学生ら18人が「探検」	令和4年10月16日	伊豆新聞	
下田城は高い防御力 市文化財保護審外岡会長が中間報告	令和4年11月8日	伊豆新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

関連する事業の掲載により、歴史まちづくりの進捗状況の情報提供に繋がった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	事業に関する資料の報道機関への提供を継続し、効果的な報道に繋がるよう実施していく。

状況を示す写真や資料等

著作権保護のため、新聞記事はなし。

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

SNSにみる認知度の向上

計画に記載している内容 美しく風格ある都市を創生し、訪れる人々に感動を与えられるようなまちづくりを行い、地域の活性化や観光振興につなげていくことが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的風致維持向上計画に関する情報の発信を年間11回行い、333件のリアクションと27件のシェアがあった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

引き続き情報発信に努めていく。

状況を示す写真や資料等



Facebookでの記事掲載状況の様子

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和5年度下田市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和5年5月23日(火)午後1時30分～午後3時15分	
(コメントの概要) ・ハード整備後の活用について、その場所を整備した目的から場所本来の活用と、占用申請等による民間事業における活用についてルールや基準を整備することが必要。	
(今後の対応方針)	